

開 心
静 聴
充 満
献 身
奉 仕

日本クリスチャン・アシュラム連盟

春季号

日本アシュラム

SPRING 1985

United Christian Ashrams of Japan

50

日本アシュラム三十年の感謝

——二十一世紀への展望——

海 老 沢 宣 道

クリスチャン・アシュラムの創始者スタンレー・ジョーンズ博士が、第二次世界大戦後の荒廃した日本の救霊のために、前後十回も全国伝道を展開して下さいたことは、教会史上で他に類を見ない壮挙であり、彼がいかにわが国を愛していたかの実証でもあります。

同師は更にその第四回目の伝道計画の中に初めてアシュラムを開催され、彼の賜物の一つを私たちにも分け与えて下さいました。それは一九五五年（昭和三十年）二月天城山荘において守られた第一回の日本アシュラムで、百数十名が三泊四日間、寝食を共にし、博士により使徒時代の信仰生活を指導され、全き明け渡しをして主の御声を静聴し、聖霊を受け、新生経験を与えられ、再献身をした



のでした。その時一同が感激をもつて署名した誓約文は次の通りです。

「讀むべきかな、我らの主イエスキリスト。御導きの下に我らはスタンレー・ジョーンズ博士を中心にし、天城山荘のアシュラムに参会し、起居を共にして祈り且つ励み、聖霊の裕かなる恩化に浴し、深い反省とさんげの裡に感激に溢れ、奮起を促され、主によりて新たにせられた事を感謝し奉る。今やわが国宣教百年記念運動の展開せられおる時、賜わりの過去の大きいなる恵を感謝すると共に、日本教化の前途甚だ多難なるを認め、我らはこの歴史的機会に於て、全身全霊を献げ、相倚り相扶けて福音の証人として起たん事を決意し、受けたる聖火を携えて帰り、同信の友を糾合して、救霊運動に邁進せん事を期し敢かなる神のみ前に連署して、共に再献身の堅き誓約を結ぶ。

願くば主偕に在して、この誓約を全うする力を得しめ給わん事を。
アーメン。昭和三十年（一九五五）二月十日 天城山荘にて

宣教百年記念協同伝道
アシュラム退修会出席者一同

その後の五回もスタンレーが来日されたたびに全国の教ヶ所で開催された最後の十回目（一九七一年）には北海道から九州までを八地区に分け、夫々に地区委員会を組織されました。そして離日に当ってこれらが全国的連絡協力をするよう希望して帰米され、間もなく病に倒れてしまわれ、代表が東京に集まって結成され、以来各地とも毎年自力で開催してくるようになりました。また世界アシュラムの第一回（七二年）がエルサレムで開かれた時は日本から二名が出席。翌七三年一月博士永眠の訃報に接した悲しみを乗り越えて、この運動は各地に展開され各地に於て一日アシュラムが数教会或は一教会単位で守られるようになりました。一九七八年には第三回国際アシュラムを日本連盟の総力を挙げて開催し、二五〇名の大会を守ることができました。また第四回国際アシュラム（八〇年、発祥地インドのサトタルにて）には日本から七名が参加、同年秋日本アシュラム二五周年記念聖会をインドのタイタス師を迎えて盛大に守ることができました。次で第五回国際アシュラム（一九八二年フィンランド）には二十名が参加、全体で三百名の

単位)の参加を期待している。

発行人 大石 嗣郎
定価 一部60円 千60円

大会となりました。

昨八四年一月三日は創始者の生誕百年に当るので、一年を通じて各地で百年記念としてのアシュラムを守りました。今年には日本に於ける第一回アシュラムが開かれてから丁度三十年になるので、今日までの主の御導きを改めて感謝しつつ、各地で記念のアシュラムが守られるように期待する次第であります。

更にあと十五年で第二十一世紀を迎えるに当たって、今日までの参加者一同が天城山荘における第一回の誓約を再確認して、アシュラムの精神が全国の教会に、全ての信徒の中に浸透するように祈りと奉仕に励む同志とならんことを熱望してやみません。

今日地上の教会は新教・旧教を問わず世界的な危機に直面しています。保守派は伝統的な教条主義に閉じこもり、知識的信仰にこりかたまるようになり、社会派は現実への適応を性急に求めて世俗化と政治化の道を走り、教会の救霊の使命を軽視しています。何れも福音信仰の英知と霊性を否定し、神の愛の絶対性と原罪からの解放(赦し)の必要性を無視し、もはやキリスト教とはいえないものであります。

このような現状に対して、アシュラムは伝統や制度に縛られている保守派、世俗化して唯物主義に捉われて

いる社会派の何れをも解放して、初代教会の自由な霊的共同体へと回復する使命を持っているのではないのでしょうか。

また一部にはキリストの幹から離れる各個教会主義の危険も強くあり、全ての教会が今こそ、悔改めて主イエスに帰り、キリストの体なる真の

第十九回

九州アシュラムに参加して

門司大里教会 山本 繁夫

第一九回九州アシュラムは、海老沢宣道理事長を助言者として御迎えし、近來にない祝福のうちに進められました。出席者は三十名で、少数ではありましたが、明年は更に倍の出席者を、との意欲が燃える程、今回のアシュラムは恵まれました。

まことに、静かな中にも、悔い改めの心が起され、集会が閉じられても、なお祈りを求める者が後を断たず、一層、献身と奉仕に生きようとの決意を堅くさせられて各々家庭に、教会に帰って行きました。

西戸崎教会 高屋 澄夫

第十九回九州アシュラムに初めて参加しました。助言者として東京より、海老沢宣道師をお迎えし、みこ

教会に直結する必要を痛感する者です。そして神の国が天に成るよう、地にも実現されるよう待望する祈りの運動に一致して進みたいと切に願う次第であります。

マラナ・タ(主よ来りませ)

とばに深く聴き入る二日間を過ごしました。

特に助言者の人生経験豊かなお話し、余裕のある人格。いつの間にか解け合つてあまりにも気持がよく、つい居眠りしそうになることもありました。先生の声を聞くだけでも落着くということ、全く人徳という他はありません。

私も小さなストレスをかかえて参加しましたが、先生にその状況を伝えると按手して下さり、的確なことばで祈つて下さり何とも言えない落着きを得ました。ここに聞いて下さる人がおり、受容されているという安心感からでしょう。

来年度もぜひ都合をつけて参加し、みことばにどこまでも深くひきまきり込まれていきたいと思ひます。

大牟田教会 叶 昌全

深まりゆく秋の冷気を感じつつ、再び閑静な緑の中で、アシュラムの集会に参加できたことを嬉しく思っています。

いろいろの集会に出席する機会はありませんが、神について人々に語るか、人々から神について聞くか、そのいずれかが多いようです。しかしこのアシュラム集会においては、神と自分との対決があり、御言に深く聞き入り、自己の諸問題に解決を頂き、お互いにそこに示された生き生きとした神の恵みを証し合うことができるのがすばらしいと思います。またファミリーの人々と心を開いて語り合い、交わりを深めることが出きたことを嬉しく思っています。

最後になりましたが、遠路私たちのためにお出かけ下さり、自作の讚美歌を紹介し、またすばらしいメッセージを語って下さった海老沢先生に、心からの感謝を捧げるものです。

北九州復興教会 朝位 真士

先日は、第十九回九州アシュラムに出席出来て誠に感謝しています。主にある兄弟方と二日間を静かな山の上で、主と共に御言葉聞く時間を与えられた事は、私にとって、特に十年目の伝道者の生涯にとって、本当に有意義であったと感謝しています。少し牧会に行きずまりを感じてい

好評・再版出来

海老沢宣道著

「アシュラムの原則と実態」

アシュラムの五大原則

(一) キリストへの明渡し

世界アシュラムの標語

ました。いくら伝道しても、牧会しても魂が救われないし、成長しない。やればやる程、疲れが出て、ニッチもサッチもいかない状態です。どこに原因があるのかというのを考えていました。この九州アシュラムに来て、海老沢教師の助言を頂くうちに、もう一度、「イエスは主なり」という言葉を再認識させられ、自分の力で、何がなんでもやっつけていかねばならないという気がふつきれた様な思いが与えられた。今迄は、口では「イエスは主なり」と言っているけれども、実は心の底では、自分が主になつて来たという事を徹夜の祈りで示されました。数分間の黙想の中で主の御声が聞こえてまいりました。道に迷った時は、元の場所に帰る事が大切な様に、もう一度「あなたこそ、生ける神の子・キリストです」という、信仰告白をさせて頂き、主にもう一度、凡てを委ねてまいろうと思つています。主のみ名はほむべきかなハレルヤ!!

鳥飼教会 阿部 納

導かれる声に知らず知らず引きこまれて心開かれ、主の前に自然な気持ちで祈ることが出来ました。祈りの細胞に分かれてピリピ書を静かにゆっくり一人一人黙読、各自が示されるままに語り合い、恵みの時に分ちあつて夜9時から朝6時まで連鎖祈禱

靈交の歌
臨在の主
山根 可弑

起きいでて祈り場へ行くこの朝
臨在の主に出会うよろこび

主よと呼ぶ唯一声に答えられ
み顔を我に向け給う主は
わが罪も汚れも忘れ愛の主の
みふところへと我は抱かる

我ひとり静かに祈る祈り場に
主は偕に在しみむねをば知る

窓を明ければ手の届きそうな所に紅葉の山肌があり、都会の雑音は一つ聞えない八木山研修所、神の秘め給うそんな所に一泊二日とじ込められて、主の御前に跪く事ができて感謝でした。先ず黙想をもつて始められ開心の時に移り、海老沢先生の

(コリント第一書十二章三節)
(ピリピ書 第二章 十一節)

- (一) 御言への静聴と立証
- (二) 聖霊の啓導と充満
- (三) 神の国の体験と献身
- (四) 教会への奉仕と伝道
- (五)

下りました。主を信する一人一人が己れを低うして、全く霊の中に置かれた恵の時を実感することが出来ました。頭だけ、言葉だけのクリスチャンにならないで、早速教会でもアシュラムを始める事になりました。私は問題を一杯抱えて悩んでいる二、三の友と少しの時間から始め、自分の願いのみをする祈りでなく神に聴く祈りを教えてあげる事にしました。神様の御霊にふれさせて頂いた心には喜びがあふれています。このことをどんだんに分ち合える様祈ります。主から離れる事のない様祈つて下さい。

鳥飼教会 柳原世紀子

初めてアシュラムに参加してすばらしさに感激して、さっそく牧師と相談して今教会でもアシュラムの計画(11月22日、22日)です。

今まで参加した修養会とちがつて、しっかり静まって主と交わり御言葉を聞き祈る中で今までよりも主と近くなつた感じがしています。開心の時、海老沢先生より心の地下室まで開いて主に見てもらおうとのおすすめで、ここ数年来いろいろ奉仕はしていても信仰のなまめるさをどうしようもありませんでした。この際主からの示しをうけたいと祈り御言葉に聞きました。そして、もう子供

新書判52頁
価三百円千七〇円
スタンレー博士に親しく指導を受けた著者がアシュラムの五大原則と守り方を平易に解説。

ではないので「エペソ四・十四に接し電気が走った思いでした。今までの信仰は人に見てもらおう、人の目を気にする子供の信仰ではなかったか、目標をめざして少しでも体を前にのばして育てられていく事の必要を示され本当に感謝しています。そしてこの確信は人の話し合いの中から示されたものではなく、主が示して下さったという確信があり、アシュラムの終った今もますますたしかな確信となつていきます。

スタンレー・ジョーンズ博士の遺著
神の然り B6判 220頁
定價1200円 送料250円
〈キリストに明け渡した人生〉
海老沢宣道 訳
日本を愛し、戦後十回の伝道を終え帰米後
卒中に倒れた病中口述された万人への遺言、
宇宙人生の真理を探究する者の必読書。
発行所 日本クリスチャン・アシュラム連盟

各地ニュース

▼連盟総務会 去る十二月五日(水) 碑文谷教会に開き、明(八五)年は日本アシユラム三十周年に当るので感謝の意をこめて記念アシユラムを開くこと、センター設置の意義、理事会開催、スタンレー記念映画購入、出版事業、訪伝との連携など協議懇談した。

▼東京教職ミニ・アシユラム 第十七回を一月二二日午前中、小石川白山教会で開き、植村、草村、新原の三人が司会を担当、次回は三月二六日成瀬伝道所に開く予定。

▼関東アシユラム委員会 新年度第一回(一月二二日)小石川白山にて、第二回(三月四日)新宿西教会にて開催。今秋第二三回の聖会を日本アシユラム三十周年記念として来る九月二三日から二泊三日間、米国よりマッシュウズ博士を迎えて開くこととし、その日程プログラムを協議決定した。次回五月一三日。

▼東京城北アシユラム(第十六回) 去る二月十一日(月)既報の通り池ノ上教会(山根、島津両師)にて「主よ、お言葉どおりです」(マタイ十五章二七)を主題に朝九時半から夕五時まで開心(岡田)、祈りの細胞(藤井、飯島、堀内、中村、三井、井本の諸兄)、中食交わりの後、静聴

(新原)でヨハネ第一の四・五章に聞き恵みを分かち合う。福音の時(安藤)でガラテヤ書五章のメッセージを受け、祈りの細胞、最後の充滿献身の時(海老沢)には五五名の参加者一同が主の取扱いを受け、聖霊に満され御国のため献身を新たにされた。 会費の他に献金も多く、経費の他に日本連盟と関東地区のため各二万円を献げることができ感謝。これは過去一年間六教会を順次廻って準備祈禱会をしてきたお蔭であろう。

○ 予告の部

▼東京城南アシユラム(第三回) 来る四月十四日(日)午前十時から碑文谷教会(大石師)にて神山良雄師を助言者を迎えて開催する。

▼東京城西アシユラム(第九回) 来る四月二九日(月)午前十時から高円寺教会(草村師)にて、主題「内住のキリスト」(ガラテヤ二章二〇)、細川、洲江、松沢、満丸、植村の諸師が協力奉仕する。

▼石神井アシユラム黙想会(三回) 来る五月六日(月)午前十時から石神井バプテスマ教会で海老沢、洲江両師の助言により「イサクとヤコブの信仰」を主題として守る。

▼第六回国際アシユラム 四年ぶり国際アシユラムが明八六年一月二二日から四泊五日間、米国ジョージア州聖シモンズ島メソジス

ト退修会場で開催と決定した。そこはジョン・ウエスリーがメソジスト運動前に宣教師として働いたゆかりの地。現在数百名の宿泊施設あり、登録費二〇ドル、但し夫婦は三五、十代の青年は十ドル。十三歳以下は無料。宿泊食費は二人一室で各一人二九ドルの割。第五回(フィラデリア)には日本から二十名参加、今回もぜひ多数参加を予定されたい。

○ 個人消息

タイタス師(サトタル)は去る一月二三日長年心臓を患われた夫人を遂に天国へ送られた。主の御慰めを切に祈る。

島隆三師 香港日本基督者会の牧師に赴かれて近く一年健闘中、聖降誕節は六二名で祝賀礼拝を守られた。 由。 洲江淳一師 昨秋、関東地区委員長に、書記は新原進師、編集向山自助師、会計伊藤愛信兄が選ばれた。

◇ 感謝 録

前四九号以降も連盟活動のために尊い賛助を寄せられ感謝の至りです。 関東アシユラム 五万円 東京城北アシユラム 二万円 海老沢宣道、大石嗣郎、井本富三郎 (以上三名各一万円) 谷本 清(五千元)沢田操(三千元) 小森隆子、黒沼栄一(各一千元) 小計十一万円、累計五〇万六千円

最新刊

サトタル・アシユラム指導者 D・P・タイタス著 植村俊雄 訳 「御国を来らせ給え」

— 神の国に就ての研究 — A 6判40頁定価二百円千七〇円 スタンレーの後継者インドのタイタス師の名著

好評・初版売切近し

海老沢宣道著 B 6判 204頁 価1000円 千200円

主イエスに就ての黙想

著者が五十余年の伝道生活中、主イエスから頂いた恵みを、静聴により証している。 読者は必ずや主のみもとに近づくことができるであらう。

発行所・白夢荘 東京都練馬区三原台1-18 振替・東京4-133392

▼アシユラムとは故スタンレー・ジョーンズ博士がインドの退修方式を

東京都目黒区中央町1-21-10 碑文谷教会気付